

「茶飲のちやの話し」

②



南九州市の茶業は、先人たちが多くの困難を乗り越え築いてきました。先人たちの思いを受け継ぎ、お茶を愛飲されている方々への感謝を忘れず、さらなる高品質のお茶の生産に取り組んでいきます。今回は、お茶の美味しい淹れ方を紹介します。

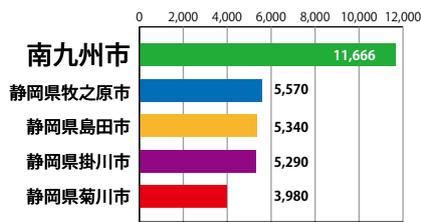
国内最大の茶産地へ！

南九州市の茶業は約 350 年の歴史を経て、平成 19 年 12 月南九州市誕生と同時に国内最大の茶産地となりました。その一部を紹介します。

現在 3,458ha（東京ドーム 735 個分）の広大な茶園で 848 戸の生産者、129 の茶工場が丹精込め 11,666t（国内の約 14%）の荒茶を生産しており、生産額は約 120 億円を誇ります。

また、全国・鹿児島県茶品評などで産地賞や農林水産大臣賞などの特別賞を連続で受賞し、さらに、お茶の安全性や品質管理を行う GAP や ISO、JAS 有機などの第三者認証についても積極的に取り組み、74 茶工場が認証を取得しており、全国の茶業関係者から大きな期待を寄せられている産地となっています。

全国荒茶生産量ベスト 5



H26 全国茶サミット資料より

南九州市のお茶の状況

栽培面積	3,458ha
荒茶生産量	11,666t
茶農家数	848戸
茶工場数	129工場

H26 茶業統計より

茶産地の分布



南九州市 茶品評会受賞歴 (回数)

全国茶品評会		九州茶品評会		県茶品評会		合計	
大臣賞	産地賞	大臣賞	産地賞	大臣賞	産地賞	大臣賞	産地賞
32	22	9	5	25	23	66	50



また、国名勝に指定されている7つの庭園には、母ヶ岳を庭の景色の一部として取り込んだ借景や、山水画を表現したような中国・琉球風の雰囲気漂わせているところが見所です。

「麓」は、江戸時代の武家集落です。知覧麓は、薩摩藩を治めていた島津氏の一族である知覧島津家の家臣団が居住していました。メインストリートである「本馬場」は、通りを見通せないように曲折し、丁寧に刈り込まれた生垣と石垣が連なる景観が特徴です。各屋敷の入口は、壁を作るなどして敵の侵入に備えた工夫も見られます。

所在地：知覧町 郡 時代：江戸時代

知覧麓庭園 (国指定名勝)

知覧伝統的建造物群保存地区 (国選定)

知っていますか？ 指定文化財 ⑪